



絆のエピソードが 漫画になりました

5月に募集した「絆のエピソード」に応募してくれた佐藤未羽さん(旭南小3年)の作品「友だちっていいな、大好きだよ」を、土崎出身の漫画家・倉田よしみさんが漫画にしてくれました。友だちとの絆を描いた心温まる作品です。

佐藤未羽さん
(旭南小3年)

友だちっていいな、
大好きだよ。

私は小学3年生です。2年生のときに友だちからもらった手紙がうれしかったです。

秋にじきゅう走大会があります。じきゅう走のれんしゅううでは2回1位になったので、本ばんでも1位になるために、お父さんとお母さん、弟と一緒に走るれんしゅうをしました。走ることは好きで楽しいです。新がたインフルエンザがはやって、私もじきゅう走大会の前に弟からうつってしまいました。雨の日が続いてじきゅう走大会が1日のびました。インフルエンザがなおって、学校に行った日がじきゅう走大会でした。インフルエンザでじきゅう走大会をわすれていました。走れると思っていたのに、少し走ったらすぐつかれて走れなくなりました。とちゅうで歩いてリタイアしました。ほけん室で少し休んだらよくなりました。1位になれなかった





倉田よしみさんから
ひとこと

みうちゃんとさくらちゃんの心の様子がよく描かれていて、お互いの気持ちかわかりやすく、とてもよかったです。まんがにしやすい作品でした。

ことはくやしかったけど、走れなかったことが1ばんくやしかったです。インフルエンザになりにくくなかったなあと思いました。

次の日友だちから手紙をもらいました。

「きのうのじぎゅうそうはがんばったね。みうは1位だよ。みうはだうんしちやったけどほんとうにがんばったね。さくらより」とかいてありました。うれしくてすぐにお母さんに見せると、お母さんはかんどうしていました。「いい友だちがいてよかったね。これはたからものなるね」といいました。手紙のへんじをかきました。わたすのがはずかしくてわたせませんでした。へんじにはこうかきました。「お手紙ありがとう。さつともじぎゅうそうがんばったね。さつとも1位だよ。これからもなかくしようね。みうより」

じぎゅう走はさんねだったけど大好きな友だちがいるからくやしくなくなりました。友だちっていいな、好きだよ。って思いました。